J

CTK-2200

取扱説明書（保証書別添）

お読みになったあとも保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
本機をお使いになる前に、必ず別紙の「安全上のご注意」をお読みください。

CTK2200-JA-1A

CASIO®

付属品一覧

 譜面立て	 **楽譜集**	 **ACアダプター：AD-E95100L**
リーフ類 • カシオ電子楽器保証書 • 安全上のご注意 • お客様ご相談窓口 • Appendix • その他		

- 欠品、破損、紛失等の場合は、ご購入された販売店にお問い合わせください。（ACアダプターは別売品で購入可能）
- 付属品のデザインと内容は、予告なく変更されることがあります。

別売品のご案内

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
サステインペダル	SP-3
	SP-20
ACアダプター	AD-E95100L

商品名	品番
イス	CB-5
	CB-7
	CB-30

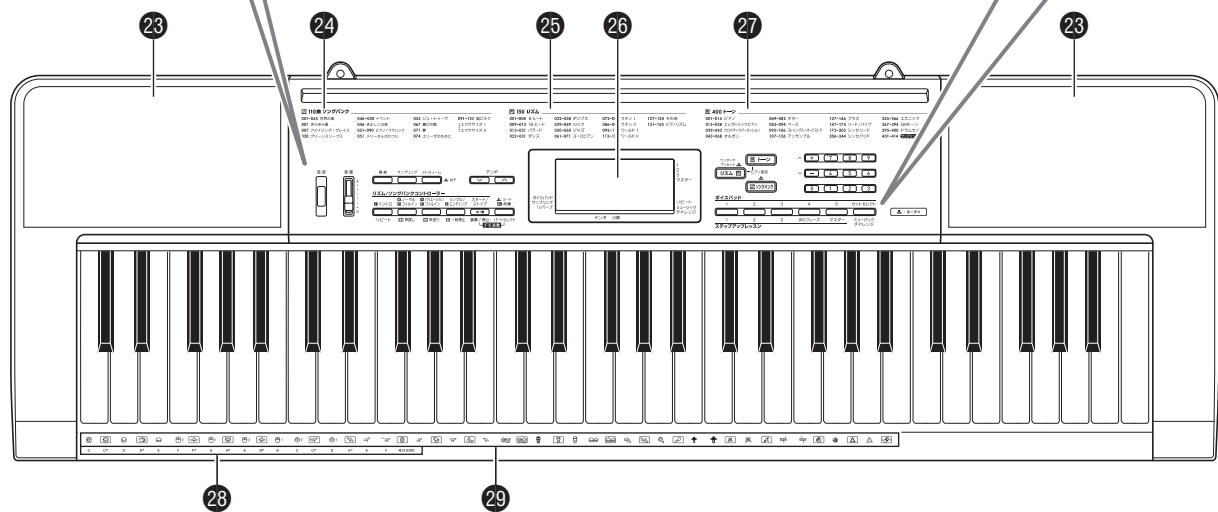
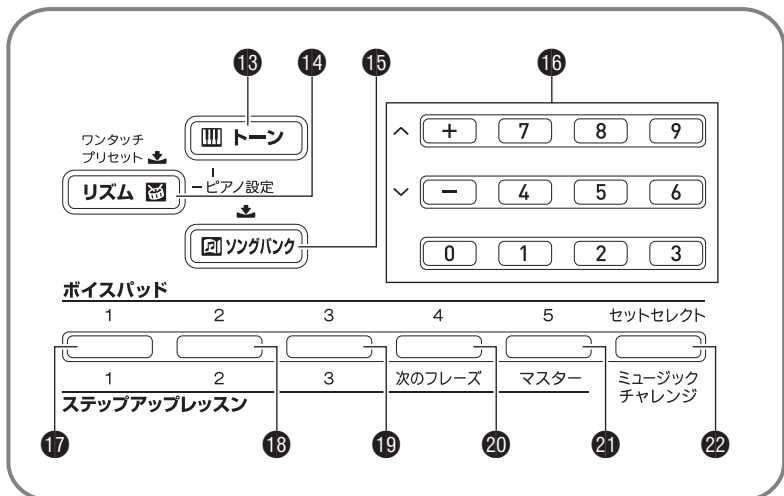
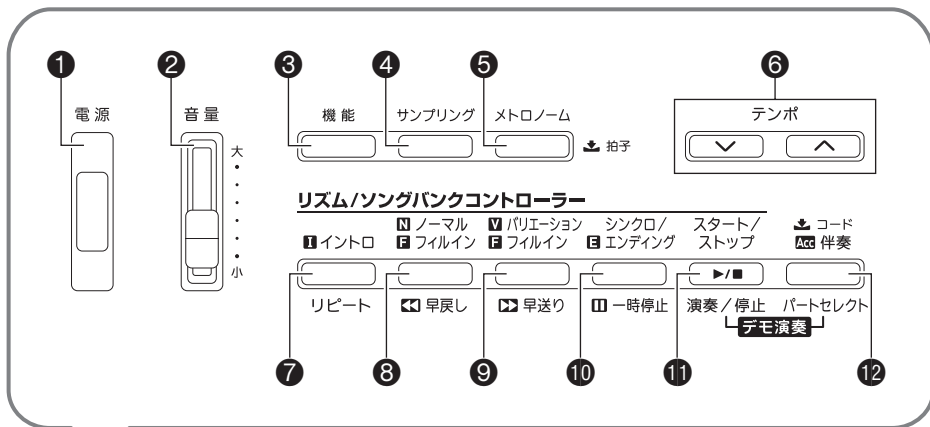
- カシオ電子楽器取扱店で購入可能。
- 店頭のカシオ電子キーボードカタログでより詳しい情報がご覧になれます。
  http://casio.jp/emi/catalogue

■JIS C 61000-3-2適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

このマークはEU諸国におけるリサイクル規制のマークです。

目次

全体ガイド

- 本書の操作説明では、ボタンやつまみなどを番号で表現します。
- 本書の巻末にある資料に、各部の番号を掲載しています。切り離してご活用ください。

- 製品本体、および下記のボタンの名称と一緒に記載されている、⬇というマークは、次の意味です。
  ⬇ ： そのボタンをしばらく押したままにしたときに、有効になる機能です。
- ☞マークの数字は参照ページです。

❶ **電源**ボタン ☞7

❷ **音量**つまみ ☞7

❸ **機能**ボタン ☞4

❹ **サンプリング**ボタン ☞13

❺ **メトロノーム、⬇拍子**ボタン ☞8

❻ **テンポ**ボタン ☞9, 18, 30

❼ **イントロ、リピート**ボタン ☞17, 29

❽ **ノーマル／フィルイン、早戻し**ボタン ☞17, 29

❾ **バリエーション／フィルイン、早送り**ボタン ☞17, 29

❿ **シンクロ／エンディング、一時停止**ボタン ☞17, 29

⓫ **スタート／ストップ、演奏／停止**ボタン ☞17, 26

⓬ **伴奏、⬇コード、パートセレクト**ボタン ☞19, 27

⓭ **トーン**ボタン ☞10

⓮ **リズム、ワンタッチプリセット⬇**ボタン ☞26, 30

⓯ **ソングバンク**ボタン ☞16

⓰ 数字ボタン、**－／＋**ボタン ☞4

⓱ **ボイスパッド1、レッスン1**ボタン ☞8, 21

⓲ **ボイスパッド2、レッスン2**ボタン ☞8, 21

⓳ **ボイスパッド3、レッスン3**ボタン ☞8, 22

⓴ **ボイスパッド4、次のフレーズ**ボタン ☞8, 21

㉑ **ボイスパッド5、マスター**ボタン ☞8, 24

㉒ **セットセレクト、ミュージックチャレンジ**ボタン ☞8, 25

㉓ スピーカー

㉔ ソングバンクリスト

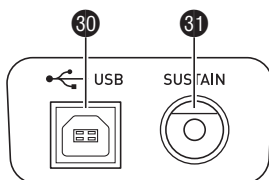
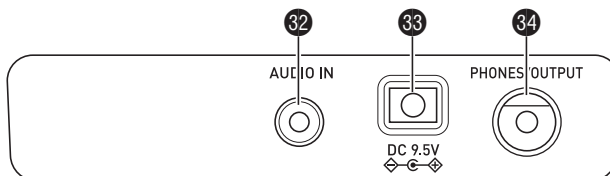
㉕ リズムリスト

㉖ 液晶画面

㉗ トーンリスト

㉘ コードルート音名 ☞27

㉙ 打楽器イラスト ☞10

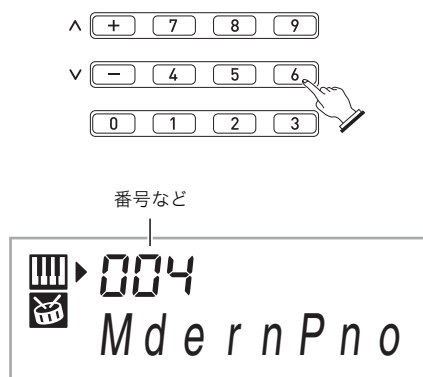
■背面部

㉚ **USB**端子 ☞31

㉛ **SUSTAIN**（サステイン）端子 ☞11

㉜ **AUDIO IN**（オーディオ入力）端子 ☞12, 33

㉝ 電源端子（**DC 9.5V**）☞5

㉞ **PHONES/OUTPUT**（ヘッドホン／アウトプット）端子 ☞7, 33

数字、[－]、[＋]ボタン(⑯)の使いかた

液晶画面の左上に表示されている番号などを変更します。

数字ボタン

数字ボタンを押すと、選びたい番号や数値を入力できます。

- 入力するときは、表示されている数値と同じ桁数を入力します。
  例：音色番号004番を選ぶ場合は"0"→"0"→"4"と入力する。

メモ

- 負(マイナス)の値は、数字ボタンでは入力できません。[－]または[＋]ボタンで入力してください。

[－]、[＋]ボタン

[－]または[＋]を押すと、表示されている番号や数値を1つずつ増減させます。

- ボタンを押し続けると番号や数値が連続して増減します。
- 両方のボタンを同時に押すと初期値、またはお勧めの数値になります。

機能ボタン(③)の使いかた

この楽器は演奏するだけでなく、リバーブ効果やペダル効果などさまざまな設定ができます。

1. ③(機能)を押します。

2. 続けて③(機能)を何度か押して設定の種類を選びます。

③(機能)を押すたびに、下記のように設定の種類が切り替わります。

③を押す回数	設定の種類	表示	参照ページ
1	トランスポーズ	Trans.	11
2	自動伴奏の音量	AcompVol	30
3	ソングの音量	Song Vol	18
4	チューニング	Tune	12
5	リバーブ	Reverb	11
6	運指音声	Speak	23
7	弾くべき音のガイド	NoteGuid	23
8	採点	Scoring	23
9	フレーズ	PhraseLn	23
10	サンプリング自動スタート	SmplAuto	14
11	キーボードチャンネル	Keybd Ch	32
12	ナビゲートチャンネル	Navi. Ch	32
13	ローカルコントロール	Local	33
14	アカンプアウト	AcompOut	33
15	ペダルの効果	Jack	11

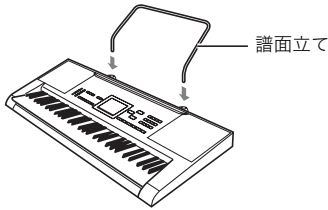
3. ⑯(数字、－＋ボタン)を使って設定値を変更します。

- しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。

重要

- **本機の電源を切ると、音色番号などの各種設定が初期化されます(7ページ)。**

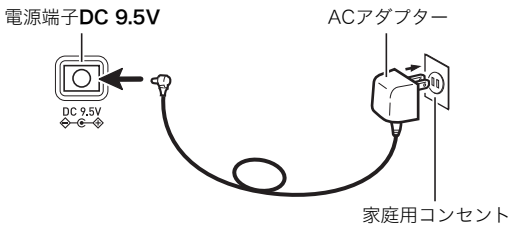
演奏の準備

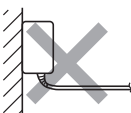
譜面立ての準備

電源の準備

この楽器は電源としてACアダプターか乾電池をご使用できますが、基本的にはACアダプターをご使用されることをお勧めします。

ACアダプターを使う場合

本機指定のACアダプター(JEITA規格・極性統一形プラグ付き)を使用してください。他のACアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。

ACアダプターの型式:AD-E95100L

重 要

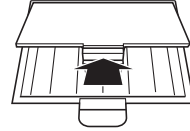
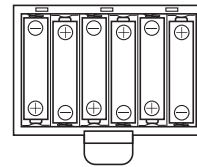
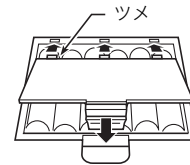
- **ACアダプターを差したり抜いたりする前に、必ず本機の電源を切ってください。**
- **長時間ご使用になりますとACアダプターが若干熱をもちますが、故障ではありません。**
- **断線防止のため、コードになるべく負荷がかからないようご注意ください。**

折り曲げない　**引っ張らない**　**巻きつけない**

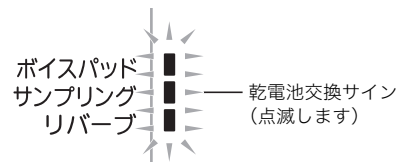
- **本機の電源端子(DC 9.5V)に、金属片や鉛筆などを入れないようにご注意ください。これらが端子に入ると、事故の原因になります。**

乾電池を使う場合

重 要

- **乾電池を入れる前に、必ず本機の電源を切ってください。**
- **乾電池は市販の単3形乾電池をご使用ください(オキシライド乾電池などのニッケル系一次電池は使用しないでください)。**

1. 本機の裏側にある電池ブタをはずします。

2. 市販の単3形乾電池、6本を電池ケースに入れます。
イラストに合わせて⊕⊖の向きを間違えないように入れてください。

3. 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。

■乾電池交換時期のお知らせ表示

乾電池が消耗してくると以下の表示が点滅しますので、新しい乾電池と交換してください。

ご使用上の注意

別紙「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所（これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります）。

■本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

■付属品・別売品

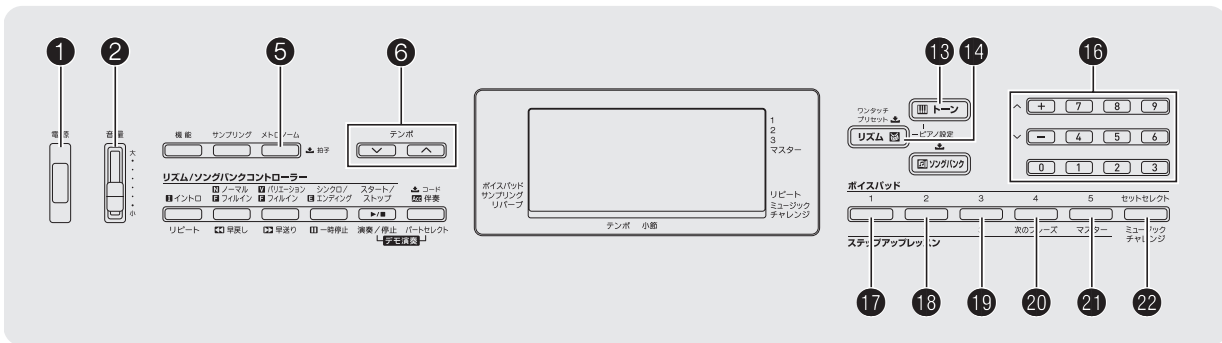
付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■音のエチケット

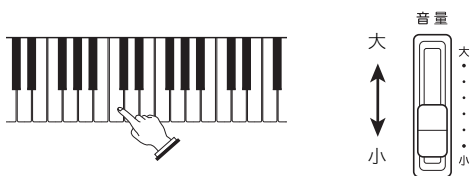
楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

演奏してみよう

電源を入れて演奏してみよう

1. ❶を押します。

電源が入ります。

- 電源を切るには、もう一度❶を押します。

2. 鍵盤を弾いてみましょう。また❷で音量の調整をしましょう。

重 要

- **本機の電源を切ると、音色やリズム番号などの各種設定が初期化されます。また、サンプリングした音(12ページ)は消去されます。**

オートパワーオフ機能

本機を使用中に以下の時間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。

乾電池で使用しているとき　　:6分間
アダプターを接続しているとき:30分間

■オートパワーオフ機能をキャンセルして使う

コンサートなどで演奏の合間に電源が切れないよう、オートパワーオフ機能をキャンセルして使用できます。

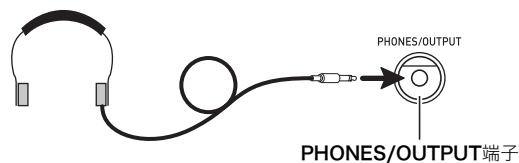
1. ⓭(トーン)を押しながら電源を入れます。

オートパワーオフ機能がキャンセルされて電源が入ります。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを使用すると内蔵スピーカーから音が出なくなり、夜間でも周囲に気兼ねなく演奏が楽しめます。

- 本機の音量を絞ってから、ヘッドホンを接続してください。

PHONES/OUTPUT端子

メモ

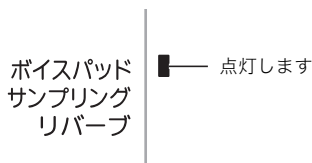
- ヘッドホンは本製品に同梱されておりません。
- 別売または市販のヘッドホンがご使用になれます。

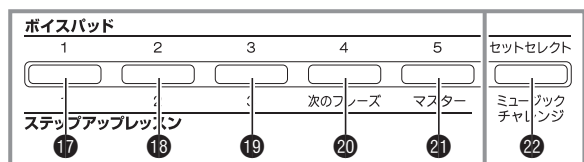
重 要

- **大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害になる恐れがあります。**
- **ヘッドホンのプラグの形状が端子にあわない場合は、市販の変換プラグをご使用ください。**
- **ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。**

パッドを鳴らしてみよう（ボイスパッド）

パッドをたたいて、さまざまな効果音や自分で記録した音（12ページ「サンプリング」）を鳴らして楽しめます。パッドを使って演奏をさらに盛り上げましょう。

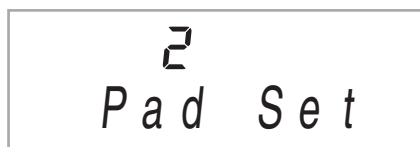
1. ⑭（リズム）を押します。

2. パッド1～5（⑰～㉑）を押して、音を鳴らしてみましょう。

音の種類には以下の4セット（パッドセット）があります。㉒を押すごとにセット1～4の間で切り替わります。

	パッド 1	パッド 2	パッド 3	パッド 4	パッド 5
セット1	音色402番 “ボイスパッド1”	音色403番 “ボイスパッド2”	音色404番 “ボイスパッド3”	音色401番 “オリジナル” ※1	
セット2	セット1の音がいろいろなピッチで鳴る※2				
セット3	セット1の音を繰り返す※3				
セット4	小ドラ	ガンショット	ボンゴ	コンガ	タンバリン

※1：パッド5は、元の音（パッド4）の完全5度上
※2：パッド1：完全5度上、パッド2：完全5度下、
　　パッド3：セット1と同じ、パッド4：長3度上、
　　パッド5：完全5度下
※3：パッド1と5はピッチが徐々に上がり、
　　パッド2は徐々に下がる

例：セット2を選んだ場合

メモ

- セット番号の表示中には⑯（数字、－＋ボタン）でも番号を変えることができます。
  しばらく何も操作しないと元の表示に戻ります。

記録した音（サンプリング音）をパッドで鳴らす

サンプリングで音を記録すると、セット1～3の音がその記録した音に変わります。詳細は12ページをご参照ください。

メトロノームを使ってみよう

メトロノームを使うと一定の間隔で音を刻みますので、演奏や練習のときにテンポを正しく保つことができます。自分にあったテンポで練習しましょう。

スタート／ストップ

1. ⑤を押します。

メトロノームがスタートします。

2. もう1回⑤を押すと、メトロノームが止まります。

拍子を変える

曲の拍子に合わせて1拍目に「チーン」と鳴らし、それ以外の拍では「カチ」と鳴らすことができます。

- 拍子は、0、2、3、4、5、6拍子から選べます。
- ソング（内蔵曲）の演奏中は、その曲の拍子になります。

1. 液晶画面に拍子の変更画面が表示されるまで、⑤をしばらく押し続けます。

- しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。

2. ⑯（数字、－＋ボタン）を押して、拍子の数を入力します。

- 0拍子を選ぶと「チーン」と鳴りません。拍子を気にすることなく練習したいときに使います。

テンポを変える

自分の弾きたいテンポとメトロノームのテンポをあわせます。

1. ❻を押します。

∨を押すとテンポが遅くなり、∧を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。

- ∨∧を一緒に押すと、そのときに選ばれているソングやリズムの初期値に戻ります。
- ❻を押すと画面のテンポ数表示が点滅をはじめます。点滅中は⓰（数字、－＋ボタン）でもテンポ数を変えることができます。
  例：テンポ89を入力するときは“0”→“8”→“9”と最初に0を入力します。
- しばらく何も操作しないと、テンポ数の点滅が終了して点灯に戻ります。

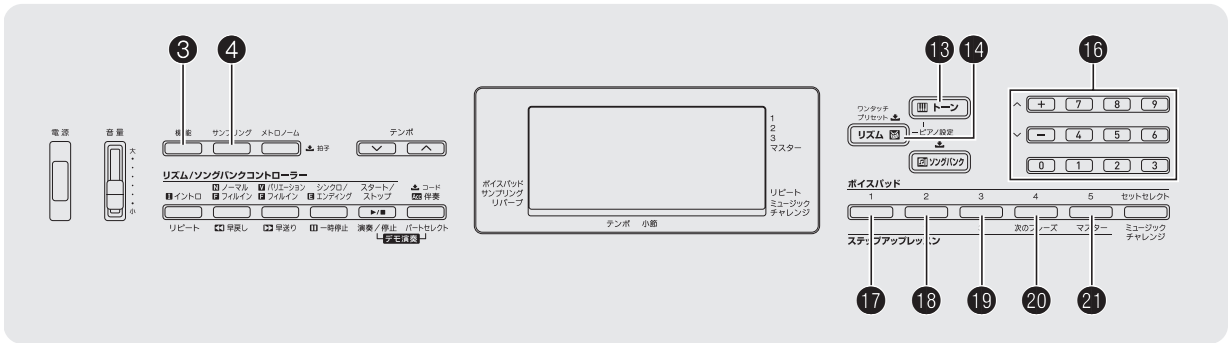
メトロノームの音量を変える

メトロノームの音量を変更するには、自動伴奏の音量やソング（内蔵曲）の音量の設定を変えます。

- 自動伴奏の音量変更は、30ページをご参照ください。
- 曲の音量変更は、18ページをご参照ください。

メモ

- 自動伴奏や自動演奏曲と、メトロノームとの音量バランスは変更できません。

音を変えて弾いてみよう

いろいろな楽器の音色で弾いてみよう

この楽器はバイオリン、フルート、オーケストラの楽器など、さまざまな楽器の音色で演奏ができます。同じ曲でも楽器の種類を替えて弾けば、さらに多彩な演奏が楽しめます。

演奏する楽器を決める

1. ⓭(トーン)を押します。

2. ⓰(数字、−＋ボタン)を押して、音色番号を入力します。

液晶画面に番号と楽器の名前が表示されますので、好きな楽器を選びます。

- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。
  例：001なら、"0" → "0" → "1" と入力します。

メモ

- 音色の一覧は別紙「Appendix」をご覧ください。
- ドラムセットの音色が選ばれていると、鍵盤ごとにさまざまな打楽器が鳴ります。

3. 鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ楽器の音色が出ます。

ピアノの音色で弾く(ピアノセッティング)

⓭(トーン)と⓮(リズム)を同時に押します。
グランドピアノの音色(001番"ステレオグランドピアノ")になります。

設定される内容

音色番号	："001"
リバーブ	："06"
トランスポーズ	："00"
ペダルの効果	：サステイン
リズム番号	："131"
自動伴奏	：リズムパートのみ
ローカルコントロール	：オン
ドラムアサイン	：オフ

響くような音で弾いてみよう（リバーブ）

リバーブを使うと音に残響音を加えることができます。この楽器では残響音の長さを変えることができますので、一味違った演奏をしてみましょう。

1. 液晶画面に“Reverb”と表示されるまで、❸（機能）を何度か押します（4ページ）。

```
oFF
Reverb
```

2. ⓰（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、残響音の長さを調整します。リバーブのタイプは下記の表のとおりです。

オフ（oFF）	リバーブ効果がかかりません。
1〜10	数値が大きくなるほど残響が長くなります。

```
02
Reverb
```

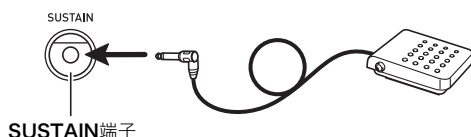
ボイスパッド
サンプリング
リバーブ ―― オフのときは消灯します

ペダルを使ってみよう

ペダルで演奏にさまざまな変化がつけられます。

- ペダルは本製品に同梱されておりません。お買い求めの販売店で別途ご購入ください。

ペダルの接続

ペダル（別売品）を接続してください。

ペダルの効果を選ぶ

1. 液晶画面に“Jack”と表示されるまで、❸（機能）を何度か押します（4ページ）。

```
SUS
Jack
```

2. ⓰（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、ペダル効果の種類を選びます。

- ペダル効果の種類は下記の表のとおりです。

サステイン（SUS）	ペダルを踏んでいる間は弾いた音の余韻が長くなります。オルガンのような音色にすると、ペダルを踏んでいる間ずっと音が鳴り続けます。
ソステヌート（SoS）	鍵盤を押してからその鍵盤を離す前にペダルを踏むと、その音にだけサステインと同じ効果がかかります。
ソフト（SFt）	ペダルを踏んでいる間に弾いた音を若干小さくします。
リズム（rHy）	自動伴奏やソングの開始／停止を行います。

音の高さを変えて弾いてみよう（トランスポーズ、チューニング）

半音単位で変える（トランスポーズ）

トランスポーズ機能とは、音の高さを半音単位で全体的に上げたり下げたりする機能です。同じ鍵盤を弾いても、実際に出る音の調（キー）を歌う人の声の高さに合わせて移調して演奏することができます。

- トランスポーズの設定範囲は上下1オクターブ（－12から＋12半音まで）です。

1. ❸（機能）を押します。

```
00
Trans.
```

2. ⓰（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、移調するキーを決めます。

音の高さを微調整する（チューニング）

チューニング機能とは、音の高さを全体的に少しだけずらす機能です。他の楽器やCDの演奏と本機の音程が合わないときに微調整できます。

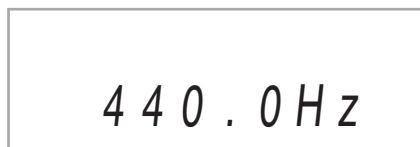
- チューニング機能では、A4の音の周波数を設定します。周波数の設定範囲は415.5～465.9Hz（初期値440.0）です。
- CDの演奏によっては、楽器のチューニングを微妙に変えて演奏されている場合もあります。

1. 液晶画面に“Tune”と表示されるまで、❸（機能）を何度か押します（4ページ）。

```
440
Tune
```

2. ⓰（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、チューニングを微調整します。

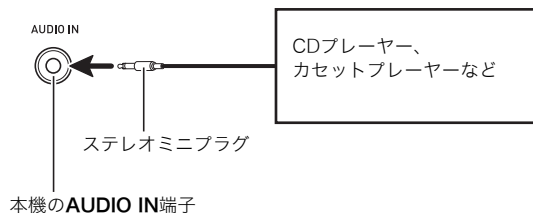
- 上の操作をすると、液晶画面の“Tune”が、下記の周波数表示に変わります。0.1Hz単位で変更することができます。

```
440.0Hz
```

- 上記の操作をしなくても、数秒経過すると自動的に周波数表示に変わります。

好きな音を記録して弾いてみよう（サンプリング）

この楽器は携帯オーディオプレーヤーなどから好きな音を記録して、鍵盤で演奏することができます。たとえば、犬の鳴き声を記録して演奏すれば、犬の鳴き声でメロディーを奏でることもできます。サンプリング機能を使ってオリジナリティあふれたサウンドを作りましょう。

外部機器の接続

外部機器を本機に接続してください。

メモ

- 市販の接続コードがご使用できます。片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

重 要

- **接続する前に、本機と外部機器の電源を切ってください。**
- **サンプリング音はモノラルで記録されます。**

音を記録して弾く

本機では、「フルサンプリング」と「ショートサンプリング」の2種類の方法で記録できます。

■フルサンプリング

1秒間までの長さの音を、1種類だけ記録できます。

1. 外部機器と本機の音量を小さくしておきます。

2. 外部機器の電源を入れてから、本機の電源を入れます。

3. ❹を押してすぐ離します。

記録待機の状態になります。

Waiting

4. 外部機器から音を出します。

自動的に記録をスタートし、約1秒後に終了します。

- 外部機器からの音量が小さすぎると記録を開始しません。
- 記録した音は、音色番号の401番に保存されます。

Sampling

401
Original

5. 鍵盤を弾いてみましょう。

- パッド4、5(⓴、㉑)でも、記録した音を鳴らすことができます(8ページ)。

メモ

- 新しく記録すると、それまでに記録したデータ(ショートサンプリング音を含む)はすべて消去されます。

■ショートサンプリング

記録できる音の長さは約0.3秒以内と短めですが、そのかわり3種類の音まで記録できます。パッド1〜3をそれぞれ違う音で鳴らして演奏してみましょう。

1. 外部機器と本機を準備します。

「フルサンプリング」の手順1〜3(13ページ)をご参照ください。

2. ❹を押しながら、音を保存したい音色番号をパッド1〜3(⓱〜⓳)で選びます。

選ぶ音色番号	402	403	404
押すパッド	パッド1 (⓱)	パッド2 (⓲)	パッド3 (⓳)

例:パッド3を押して音色番号404を選んだ場合

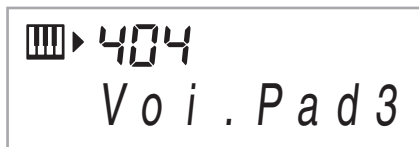
Voi.Pad3

❹を離すと記録の待機状態になります。

Waiting

3. 外部機器から音を出します。

自動的に記録をスタートし、約0.3秒後に終了します。

- 外部機器からの音量が小さすぎると、記録を開始しません。

ボイスパッド
サンプリング
リバーブ

点灯します

4. 鍵盤を弾いてみましょう。

記録した音は、手順2で押したパッドでも鳴らすことができます。

メモ

- 新しく記録すると、以前に同じ音色番号に保存した音や、フルサンプリング（13ページ）で記録した音は消去されます。

電源を切るとデータが消去されます！

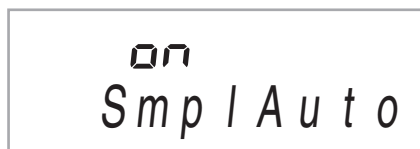
本機の電源を切ると、サンプリングで記録した音のデータは消去されます。

■記録した音と同じ高さ（ピッチ）の音について

中央のド（C4）鍵盤で出る音が記録したままの音声です。C4を中心に上下の鍵盤を押すと記録したデータの音の高さを変えて音を出します。

記録を手動ではじめる

1. 液晶画面に“SmplAuto”と表示されるまで、❸（機能）を何度か押します（4ページ）。

on
SmplAuto

2. ⑯（数字、－＋ボタン）の［－］を押して、オフに設定します。

この設定が選ばれていると、フルサンプリングの手順4や、ショートサンプリングの手順2で、❹を離すとすぐに記録を開始します。

重 要

- **記録はボタン（❹）を離したときに開始します。ボタンを押し続けていると開始しませんのでご注意ください。**

記録した音にさまざまな効果をつける

フルサンプリングで記録した音（音色番号401）にさまざまな効果をつけた音を出します。

1. ⑯（数字、－＋ボタン）で音色番号405～414を選びます。

これらの音色を選ぶと、サンプリングした音（401番）を繰り返し鳴らして、さらにそれぞれの音色名ごとの効果がかかります。

音色番号	音色名	効果の内容
405	ループ 1	サンプリングした音が繰り返し鳴ります。
406	ループ 2	鍵盤を離した後に、音の余韻のピッチが上がります。
407	ループ 3	鍵盤を離した後に、音の余韻のピッチが下がります。
408	ピッチ 1	だんだんピッチが高くなっていきます。
409	ピッチ 2	だんだんピッチが低くなっていきます。
410	ピッチ 3	だんだんピッチが低くなっていきます。鍵盤を離すと音の余韻のピッチが上がります。
411	トレモロ	音量が大きくなったり小さくなったりを繰り返します。
412	ファニー 1	ビブラートがかかり、ゆれ幅がだんだん大きくなります。
413	ファニー 2	ピッチが上がったり下がったりを繰り返します。
414	ファニー 3	ビブラートがかかり、だんだんピッチが高くなっていきます。

サンプリング音でリズムを鳴らしてみよう(ドラムアサイン)

打楽器の音を、ショートサンプリングで記録した音に変えて、自動伴奏のリズム(26ページ)を鳴らすことができます。

1. ❸(機能)と❹を同時に押します。

しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。

2. ⓰(数字、−+ボタン)の[−]または[+]を押して、ドラムアサインのタイプを選びます。

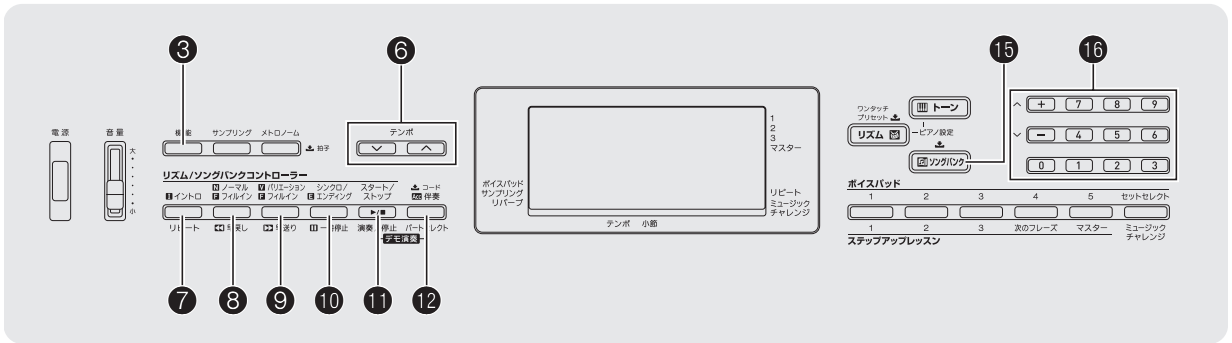
オフ(oFF)	サンプリングした音は鳴りません。
タイプ1(dr1)	リズムのバスドラムを音色番号402の音に、スネアドラムを403の音にします。
タイプ2(dr2)	タイプ1よりもさらに多くの打楽器を、音色番号402〜404の音にします。

3. リズムをスタートします(26ページ)。

選んだタイプのドラムアサインの音で、リズムが鳴ります。

メモ

- リズムパートのドラム音のうちいくつかは、サンプリングした音に変えることができない場合があります。

ソング(内蔵曲)を鳴らそう

ソング(SONG)とはふつう「歌」のことを意味しますが、この楽器では曲データのことを指します。ソングを鳴らして聴いてみましょう。また、曲を聴くだけでなく曲に合わせて練習することもできます。

メモ

- この楽器にはソングを自動演奏させて鑑賞する機能だけでなく、自分で弾くための練習をサポートするレッスンシステム(20ページ)もあります。

デモを聴いてみよう

ソング(内蔵曲)のなかで鑑賞用の曲(001〜090番)を選んで再生します。

1. ⓫と⓬を同時に押します。

再生がスタートします。

- 曲目は37ページをご参照ください。
- デモ曲は常に001番の曲からはじまります。

2. デモ中に曲を変えるには、⓰(数字、−＋ボタン)の[−]または[+]を押して、曲番号を選びます(4ページ)。

選んだ曲番号のデモを開始します。

- ⓰(数字、−＋ボタン)の数字ボタンで曲番号は選べません。

3. デモを終了するには⓫を押します。

⓫を押すまでデモの全曲目を繰り返します。

ソングを1曲ずつ聴いてみよう

この楽器に内蔵されているソングの中からお好きな曲を選んで聴くことができます。また、ソングに合わせて弾くこともできます。

スタート/ストップ

1. ⓯(ソングバンク)を押します。

2. ⓰(数字、−＋ボタン)を押して、お好きなソングの番号を入力します。

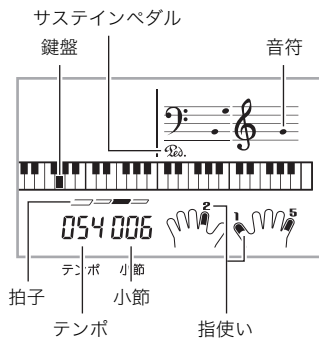
- ソングの一覧は37ページをご参照ください。
- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。
  例: 036なら、"0" → "3" → "6" と入力します。

■「脳にキク」について

ソングの091〜110番は、指のトレーニングのための曲集です。脳の活性化の効果も期待できます。

メモ

- 脳の活性化には個人差があります。
- 本機は医療機器ではありません。

3. **⓫を押します。**
ソング再生がスタートします。

4. **もう一度⓫を押すと、ソング再生を途中で止めることができます。**
ソングは⓫を押すまでリピート再生します。リピートを解除するには❼を押します。

一時停止、早送り、早戻し

音楽プレーヤーのように、ソングの一時停止や早送り／早戻しができます。

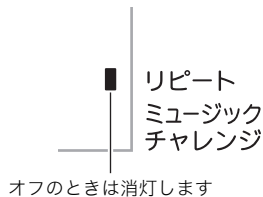
■一時停止

1. **❿を押します。**
ソング再生を一時停止します。

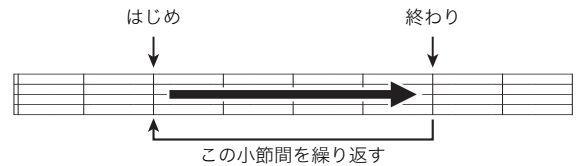
2. **もう一度❿を押すと、停止したところからソング再生を再開します。**

■早送り

1. **❾を押します。**
ソングを早送りします。❾を1回押すと1小節先に進みます。押し続けると連続して小節を進めます。
- 曲の停止中に❾を押すと、レッスン機能のフレーズ送りを行います(21ページ)。

■早戻し

1. **❽を押します。**
ソングを早戻しします。❽を1回押すと1小節戻ります。押し続けると連続して小節を戻します。
- 曲の停止中に❽を押すと、レッスン機能のフレーズ戻しを行います(21ページ)。

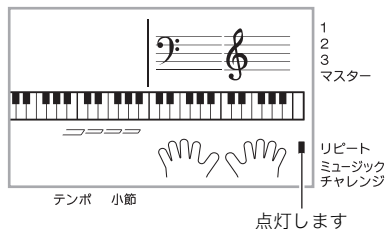
曲の小節間を繰り返す(リピート)

上手に演奏できないフレーズを何度も繰り返し練習してみましょう。繰り返したい箇所の、はじめの小節と終わりの小節を指定します。

1. **❼を押して、曲のリピートを解除します。**

2. **ソングの再生中に、❼を押してリピートするはじめの小節を指定します。**
❼を押したときの小節冒頭が指定されます。

3. リピートしたいところまで曲が進んだら、もう一度❼を押して終わりの小節を指定します。

❼を押したときの小節末尾が指定され、指定した小節間をリピート再生します。

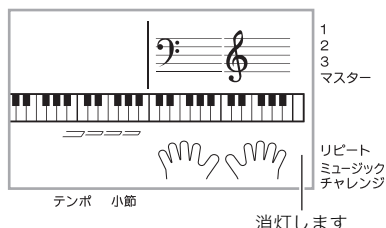
- リピート再生中に❽、❾、❿を押すと、リピート部分の一時停止、早送り、早戻しができます。

4. もう一度❼を押すと、通常の演奏に戻ります。

ソング番号を変えるとリピート内容は消去されます。

速さ(テンポ)を変える

難しいフレーズはソング再生の速さ(テンポ)を変えて練習してみましょう。

1. ❻を押します。

∨を押すとテンポが遅くなり、∧を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。

- ∨∧を一緒に押すと、ソングのオリジナルテンポに戻ります。
- ❻を押すと画面のテンポ数表示が点滅をはじめます。点滅中には⓰(数字、−＋ボタン)でもテンポ数を変えることができます。しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。
- ソング番号を変えると、ソングのオリジナルテンポに戻ります。

音量(ソングボリューム)を変える

自分で弾く音量とソング再生の音量のバランスを変えてみましょう。

1. 液晶画面に"Song Vol"と表示されるまで、❸(機能)を何度か押します(4ページ)。

2. ⓰(数字、−＋ボタン)の[−]または[+]を押して、ソングの音量を変えます。

ソングの音と同じ音色で弾いてみる

鍵盤の音色をソングと同じ音色にして、一緒に弾いてみましょう。

1. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、⓯(ソングバンク)をしばらく押し続けます。

ソングの音色と同じ音色が選ばれているときは、液晶画面の音色名は変わりません。

2. ソング再生に合わせて弾いてみましょう。

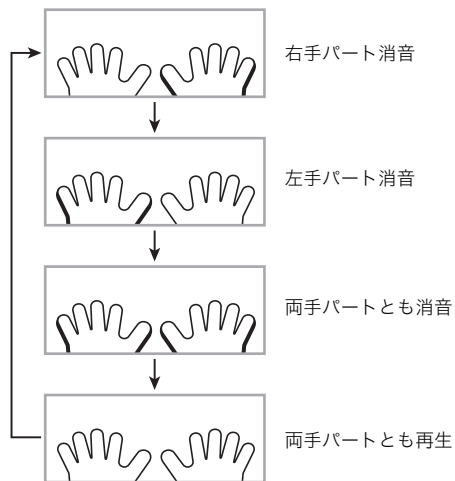
メモ

- 右手と左手で違う音色を使っているソングは、右手パートと同じ音色で弾けるようになります。

片手パートの音を消して練習する（パートセレクト）

ソングの右手パートと左手パートのうち、どちらか一方の音を消して、もう一方の音だけを再生することができます。最初から両手で弾くのは難しいと思ったら、一方のパートの音を消してもう一方のパート再生とあわせて練習してみましょう。

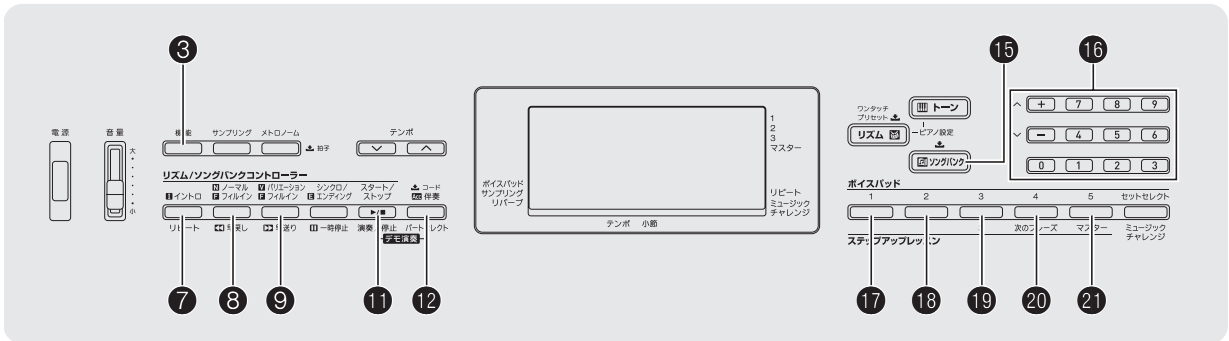
1. ⑫を押して、ソングの音を消したいパートを選びます。

⑫を押すたびに、下記のようにパート選択が切り替わります。

2. ⑪を押します。

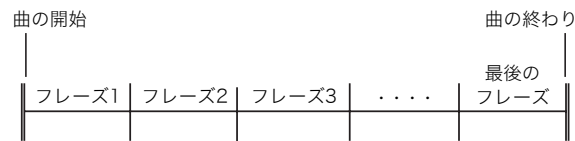
選んだパートの音を消して、ソングを再生します。

メモ

- どちらか一方のパートの音を消して再生しているときは、消したパートの音だけが液晶画面に表示されます。

ソング(内蔵曲)で曲をマスターしよう

1曲を弾けるようになるまで、曲全体をいくつもの短い楽節(フレーズ)に分けてそれぞれのフレーズごとに練習した後、最後に全曲を練習する方法がより効果的です。このような練習を強力にサポートしてくれるシステム、それがステップアップレッスンです。

フレーズについて

この楽器に内蔵されている曲は、あらかじめ練習用のフレーズ(区間)に分けられています。

ステップアップレッスンの流れ

曲のフレーズごとに右手、左手、両手の順にレッスンを進めます。すべてのフレーズを通して弾けるようになると1曲完成です。

フレーズ1
- 右手のレッスン1、2、3
- 左手のレッスン1、2、3
- 両手同時のレッスン1、2、3

↓

フレーズ2、3、4・・・
最後のフレーズまで同じく練習。

↓

全部のフレーズを覚えたら全曲を練習。

1曲完成!

レッスン中のメッセージ表示について

ステップアップレッスンでは、レッスンの進行をサポートするために、下記の5種類のメッセージが液晶画面に表示されます。

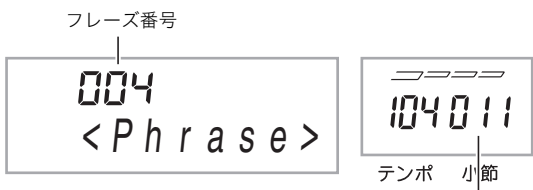
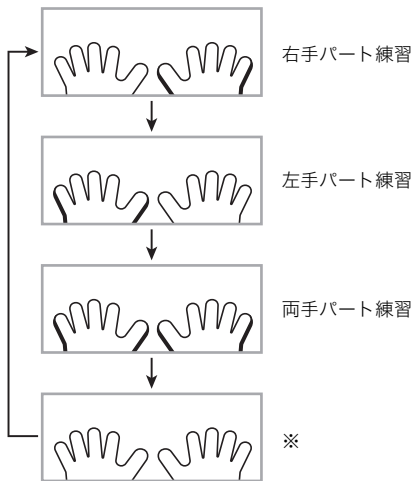
メッセージ	内容
<Phrase>	フレーズを選んだときや、レッスンを開始したときなどに表示されます。 • ただし一部のフレーズでは <Phrase> の代わりに下記の <Wait> が表示される場合があります。
<Wait>	ソングの前奏や間奏などの、練習する音符が含まれていないフレーズのレッスンを開始したときに表示されます。このフレーズでは再生が終わると自動的に次のフレーズに進みますので、鍵盤を弾かずに待ってください。
NextPhrs	次のフレーズへ自動的に進むときに表示されます。上記の <Wait> が表示されたフレーズの再生が終わったとき、あるいは自動ステップアップレッスン(24ページ)でこのメッセージが出てきます。
From top	自動ステップアップレッスン(24ページ)のなかで、フレーズ1から今練習しているフレーズまでを通して練習する直前に表示されます。
Complete	自動ステップアップレッスン(24ページ)を終了したときに表示されます。

練習するソング、フレーズ、パートを選ぶ

最初に、練習するソング、フレーズ、パートを決めましょう。

1. 練習するソングを選びます(16ページ)。
ソングを選んだときは、最初のフレーズが選ばれます。

2. ⑳(または⑨)を押すと、次のフレーズへ進み、⑧を押すと1つ前のフレーズに戻ります。

- ⑨または⑧を押し続けると、フレーズを連続して切り替えられます。
- 本機では練習したソングの最後に練習したフレーズを20まで記憶します。そのフレーズを呼び出すには、そのソングを選んでから⑳を押し続けます。

3. ⑫を押して、練習するパートを選びます。
⑫を押すたびに、下記のようにパート選択が切り替わります。

※ステップアップレッスン中に⑫を押した場合は、この画面を表示しないで右手パート練習に戻ります。

4. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、⑮(ソングバンク)をしばらく押し続けます。
鍵盤の音がソングと同じ音色になります(18ページ)。

レッスン1〜3をはじめよう

それではレッスンをはじめましょう。最初に練習するソング、フレーズ、パートを選んでおきます。

レッスン1、お手本の演奏を聴く

まずは、お手本の演奏を何度も聴いて曲を覚えましょう。

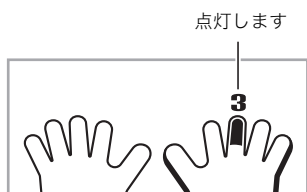
1. ⑰を押します。
お手本の演奏がはじまります。

2. お手本の演奏を止めたい場合は⑰(または⑪)を押します。

レッスン2、表示のガイドを見ながら弾く

ソングを弾いてみましょう。液晶画面にこれから弾く鍵盤が表示されます。また、音声で指使いの番号をガイドします。ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。間違えて押しても大丈夫です。正しい鍵盤を弾くまで曲の再生が一時停止してくれます。あせらずゆっくり弾いてみましょう。

1. ⑱を押します。
レッスン2がはじまります。

2. **液晶画面表示と音声でガイドがはじまりますので、ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。**
液晶画面表示にはこれから弾く鍵盤がガイドされます。また、音声で指使いの番号をガイドします。

<レッスン2のガイドについて>

ガイドを参考にどの鍵盤をどの指で弾くのかを覚えて、タイミングを合わせて弾きます。

弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します。
- 鍵盤表示が点滅から点灯に変わります。
- 正しい鍵盤を音でガイドします。
- 音声で指使いの番号をガイドします。

正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開され、次の鍵盤が点滅ガイドされます。

3. **レッスン2を止めたい場合は⑱(または⑪)を押します。**

● 最後まで弾くとレッスン2の採点結果が表示されます。

Bravo!	合格です。次のレッスンへ進みましょう。
Again!	もう一度トライしましょう。

レッスン3、これまでの練習を思い出して弾く

正しい鍵盤を弾くまで曲が停止したままになる点はレッスン2と同じですが、次に弾く鍵盤の事前のガイドがありません。レッスン2までの練習を思い出しながら弾いてみましょう。

1. **⑲を押します。**
レッスン3がはじまります。

2. **曲に合わせて弾きます。**

<レッスン3のガイドについて>

レッスン2で覚えた鍵盤を弾きます。

弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します。
- 正しい鍵盤を音でガイドします。

それでも正しい鍵盤を弾かないと、レッスン2と同様の液晶画面と音声によるガイドが出ます。

正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開されます。

3. **レッスン3を止めたい場合は⑲(または⑪)を押します。**
- 最後まで弾くとレッスン2と同様に、レッスン3の採点結果が表示されます。

1曲を通して弾いてみる

レッスン1、2、3ですべてのフレーズが弾けるようになったら、最後に自動演奏に合わせて1曲弾いてみましょう。

1. **⑫を押してパートを両手オフにして、⑪を押します。**
両手で弾いてみましょう。練習の成果はいかがですか?

レッスン中のさまざまな設定

フレーズを繰り返さないようにする

レッスン1からレッスン3で、練習しているフレーズを繰り返さないようにできます。

1. ❼を押します。
フレーズをリピートしなくなります。

消灯します ── リピート
ミュージック
チャレンジ

指番号の音声ガイドを消す

レッスン2、レッスン3での音声による指使い番号ガイドをオフにできます。

1. 液晶画面に“Speak”と表示されるまで、❸(機能)を何度か押します(4ページ)。

on
Speak

2. ⓰(数字、－＋ボタン)の[－]を押して、オフに設定します。

弾くべき音のガイドを消す

レッスン2、レッスン3での弾くべき音が鳴るガイドをオフにできます。

1. 液晶画面に“NoteGuid”と表示されるまで、❸(機能)を何度か押します(4ページ)。

on
NoteGuid

2. ⓰(数字、－＋ボタン)の[－]を押して、オフに設定します。

採点結果の表示を出さないようにする

レッスン2、レッスン3で表示される採点結果の表示機能をオフにできます。

1. 液晶画面に“Scoring”と表示されるまで、❸(機能)を何度か押します(4ページ)。

on
Scoring

2. ⓰(数字、－＋ボタン)の[－]を押して、オフに設定します。

曲をフレーズに分けずに練習する

フレーズに分けずにソング全体をはじめから終わりまで通してレッスンすることができます。

1. 液晶画面に“PhraseLn”と表示されるまで、❸(機能)を何度か押します(4ページ)。

PrE
PhraseLn

2. ⓰(数字、－＋ボタン)の[－]を押して、オフに設定します。

自動的にレッスンを進めてみよう ー自動ステップアップレッスンー

自動ステップアップレッスン機能を使えば、すべてのレッスンを本機にお任せで進められます。

1. 練習するソングとパートを選びます(16ページ)。

2. ㉑を押します。

フレーズ1のお手本を聴くレッスンから開始します。

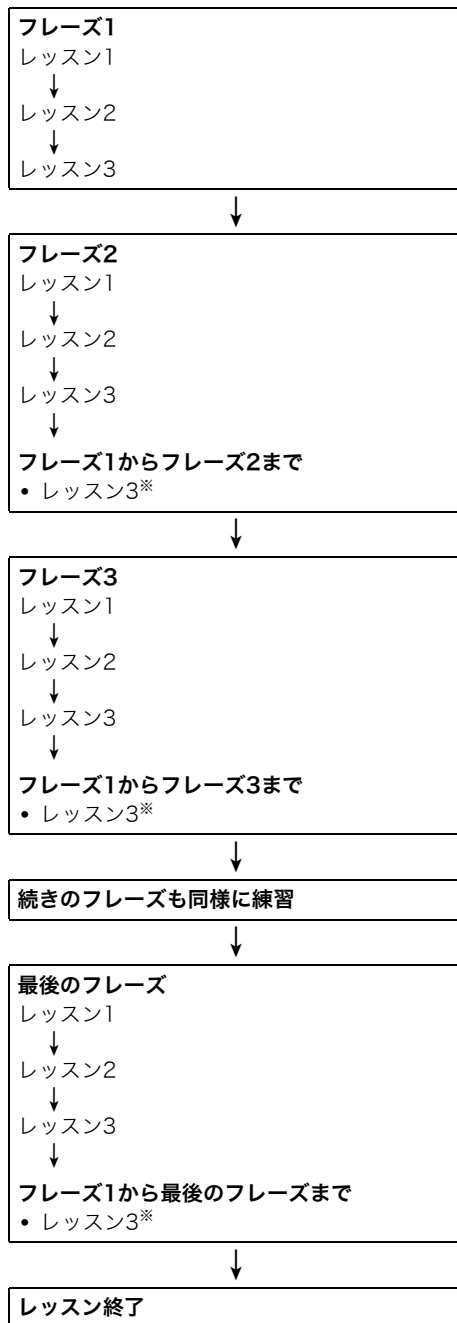
- レッスン1では、1回のみお手本を自動演奏した後、レッスン2へ進みます。

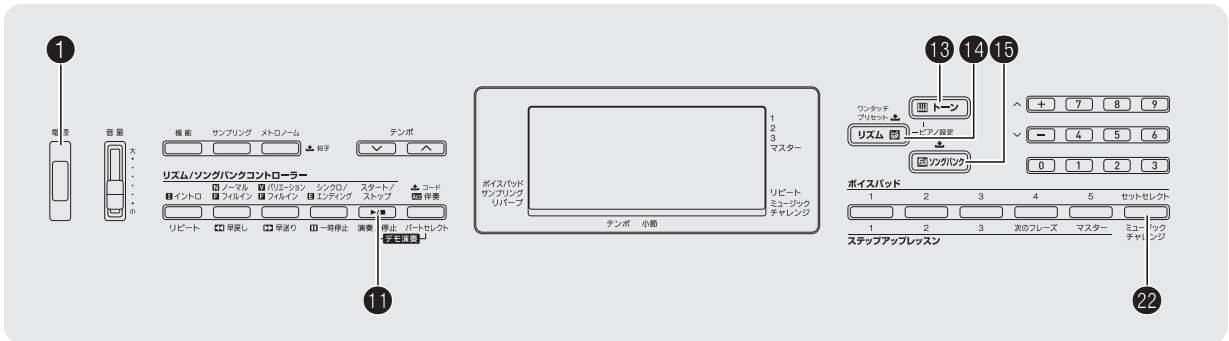
3. レッスンを最後まで合格すると、自動ステップアップレッスンを終了します。

- レッスン2、レッスン3では、「Bravo!」の採点結果が出たら次のレッスンへ進みます。
- レッスンを中止する場合は、㉑(または⑪)を押します。

メモ

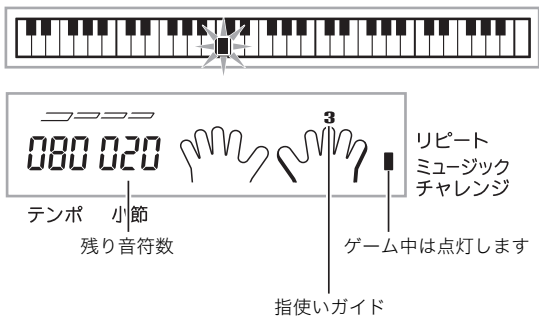
- 自動ステップアップレッスン中でも、❽、❾、または⑰〜⑳を使ってレッスンやフレーズを変更できます。
- 自動ステップアップレッスンを開始すると、フレーズリピート設定(23ページ)と採点結果表示(23ページ)は自動的にオンになります(レッスン中はオフにできません)。

■自動ステップアップレッスンの順序

※曲のはじめから練習したフレーズまでを通して弾くレッスン3です。このレッスン3は採点結果にかかわらず1回のみで終了して、次のフレーズのレッスンに進みます。

鍵盤ゲーム(ミュージックチャレンジ)

液晶画面の鍵盤ガイドと指使いガイドに合わせて、どれだけ速く反応して押せるかを競うゲームです。

1. ⑮(ソングバンク)を押します。

2. ㉒を押します。

液晶画面の鍵盤ガイドが点滅しはじめます。鍵盤ゲーム曲のスタートです。

3. 液晶画面の鍵盤ガイドが点滅から点灯に変わった後に、液晶画面でガイドされている指でできるだけ早くその鍵盤を押します。

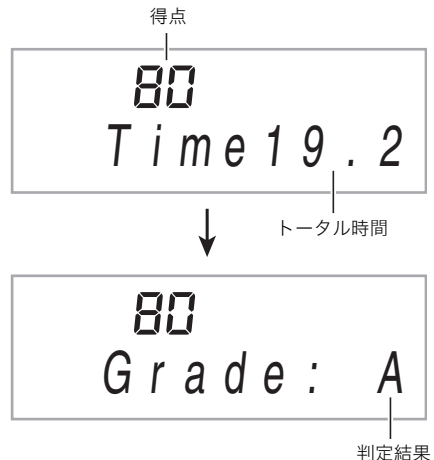
弾いた鍵盤ガイドが消えたら、1回クリアです。すぐに次の鍵盤ガイドが点滅しますので、続けて鍵盤を押してください。

- 鍵盤ガイドが点灯に変わってからその鍵盤を弾くまでの時間が表示されます(0.1秒単位)。表示される時間が短いほど判定結果が良くなります。
- 鍵盤ガイドが点滅から点灯に変わる前に弾いてしまった場合はクリアになりません。

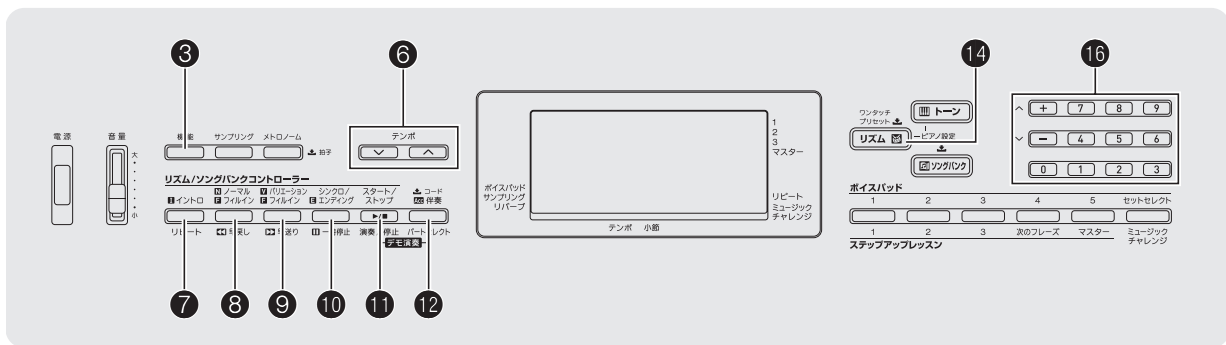
4. 20回クリアするとゲームが終了します。

- 液晶画面表示に得点とトータル時間が表示されます。少したってから時間が判定結果の表示に変わります。表示を消すには⑬(トーン)、⑭(リズム)、⑮(ソングバンク)のいずれかを押します。
- ゲームを中断したいときは㉒または⑪を押します。

判定結果

S	<高>
A	
B	ランク
C	
D	<低>

メモ

- 音と指使いはゲームごとにランダムに選ばれます。
- ゲーム曲のテンポは変更できません。
- ゲーム中は❶、⑪、㉒以外のボタンは使えません。

自動伴奏をバックに演奏しよう

自動伴奏機能とは、お好みの伴奏リズムを選び、左手でコード（和音）を押すだけで、選んだリズムにぴったりの伴奏が自動に鳴る機能です。1人でもアンサンブル演奏をお楽しみいただけます。

メモ

- 自動伴奏で鳴るパート（楽器）には、下記の3種類があります。
  (1) リズム（打楽器）
  (2) ベース（低音楽器）
  (3) ハーモニー（さまざまな楽器）

(1)だけを鳴らしたり、(1)～(3)の全楽器を同時に鳴らすこともできます。

リズムパートだけを鳴らそう

リズム（打楽器）は自動伴奏の土台となる重要なパートです。本機には8ビートやワルツなどさまざまな種類のリズムが内蔵されていますので、まずは基本となるリズムパートだけを聴いて、それに合わせて弾いてみましょう。

リズムパターンの選択とスタート／ストップ

1. ⓮（リズム）を押します。

2. ⓰（数字、－＋ボタン）でリズム番号を入力します。
- リズムの種類は別紙「Appendix」をご覧ください。
- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。
  例：001なら、"0" → "0" → "1" と入力します。

3. ⓫（または❽）を押します。
リズムがスタートします。

4. リズムに合わせて弾きましょう。

5. もう一度⓫を押すとリズムがストップします。

すべてのパートを鳴らしてみよう

コードを付けて伴奏する

左手でコードを押さえると、選んだリズムにベースやハーモニーを加えた伴奏が自動的に演奏されます。1人で演奏してもバンド演奏のように楽しく演奏できます。

1. リズムパートの自動伴奏をスタートさせます。

2. ⑫を押します。

左側の鍵盤でコードを入力できる状態になります。

点灯します

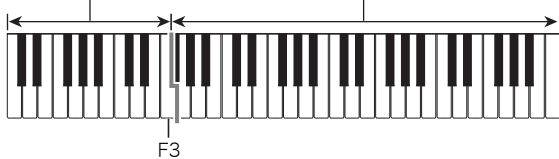
N　Acc

3. コード入力鍵盤でコードを押さえます。

ベースやハーモニーなど、リズムパート以外の楽器も鳴りはじめます。

コード
（メロディーは弾けません）

メロディー

F3

例）コード入力鍵盤の「レ・ファ#・ラ・ド」を押さえる。

↓

「レ・ファ#・ラ・ド」の和音（コード：D7）で伴奏が鳴ります。

4. 左手でいろいろなコードを押さえて、右手でメロディーを弾きましょう。

5. もう一度⑫を押すと、リズムだけの伴奏に戻ります。

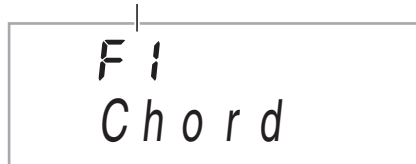
メモ

- コードを押さえると同時に伴奏をスタートさせるには、「シンクロスタート」（30ページ）をご参照ください。

コードの入力方法の選択

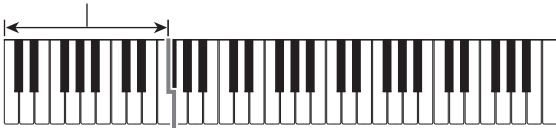
コードの入力方法は、以下の5種類から選べます。

- フィンガード1
- フィンガード2
- フィンガード3
- カシオコード
- フルレンジコード

1. 液晶画面にコードの入力方法の画面が表示されるまで、⑫をしばらく押し続けます。

2. ⑯（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、コード入力方法を選びます。

- 入力方法の画面は、しばらく何も操作をしないと元の画面に戻ります。

■フィンガード1、2、3について

これらは、コード構成音のままに鍵盤を押さえて入力する方法です(一部のコードでは構成音を省略して、1〜2鍵でも入力できます)。
入力できるコードの種類と鍵盤の押さえかたについては、38ページをご参照ください。

コード入力鍵盤

● フィンガード1
コードの構成音の鍵盤を押さえます。

F1

● フィンガード2
フィンガード1とは違い、6thの入力はできません。

● フィンガード3
フィンガード1とは違い、一番低い鍵盤の音をベース音として分数コードが入力できます。

■カシオコードについて

簡単な指使いで次の4種類のコードを演奏できます。

コード入力鍵盤

コードの種類	例
メジャーコード コード入力鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(コード入力鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。	C(Cメジャー)
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm(Cマイナー)
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7(Cセブンス)
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7 (Cマイナーセブンス)

メモ

- 2つ目以降の鍵盤は、1つめより右側なら白鍵/黒鍵を問わずどれでも使用できます。

■フルレンジコードについて

すべての鍵盤でコードの入力とメロディー演奏ができます。
入力できるコードの種類については、38ページをご参照ください。

コード入力鍵盤/メロディー鍵盤

自動伴奏を使いこなそう

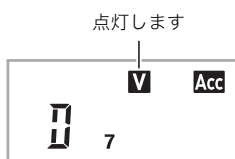
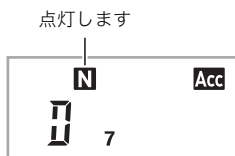
自動伴奏に変化をつけて演奏する

自動伴奏にメリハリをつけて演奏できます。気の利いたイントロから入る、サビ前をぐっと盛り上げる、おしゃれなエンディングをつけるなど、自動伴奏をさまざまに彩る演出機能を使いこなしましょう。

■バリエーション（伴奏パターンの変化形）

ノーマルパターン（基本）の演奏を変化させたバリエーションパターンです。基本パターンとは一味違った演出ができます。

1. ❾を押します。

バリエーションパターンがスタートします。

2. ❽を押すと、ノーマルパターンの演奏に戻ります。

■イントロ（前奏）

数小節のイントロを入れます。

1. ❼を押します。

イントロがスタートします。イントロ演奏の後、通常のパターン演奏になります。

- イントロ演奏中に❾を押した場合は、イントロ終了後にバリエーションパターン演奏になります。

■変化フレーズ（フィルイン）

曲の途中にフィルインを入れます。

- フィルインとは、曲調の切れ目に入れる短いフレーズのことです。メロディーとメロディーのつなぎ目やアクセントとして使ったとき、とても華やかな演奏になります。
- ノーマル、バリエーションのそれぞれに違ったフィルインパターンがあります。

● ノーマル・フィルイン

1. ノーマルパターン演奏中に、❽を押します。

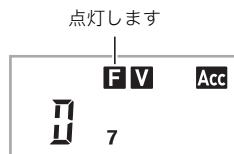
ノーマルパターンのフィルインが演奏されます。

- フィルイン終了後にノーマルパターン演奏に戻ります。

● バリエーション・フィルイン

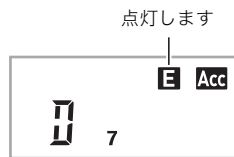
1. バリエーションパターン演奏中に、❾を押します。

バリエーションパターンのフィルインが演奏されます。

- フィルイン終了後にバリエーションパターン演奏に戻ります。

■エンディング（終わり）

数小節のエンディングパターンを入れます。

1. 自動伴奏の演奏中に、❿を押します。

エンディングパターンが演奏され、自動的に伴奏が停止します。

■ シンクロスタート（演奏と同時に伴奏をスタートする）

鍵盤を押すタイミングと同時に、伴奏をスタートさせることができます。

1. ❿を押します。

伴奏スタート待機の状態になります。

2. 鍵盤でコードを押さえます。

同時にフルパート伴奏（ノーマル）がスタートします。

シンクロ待機中に以下の操作をしておくと、ノーマル以外のパターンで開始できます。

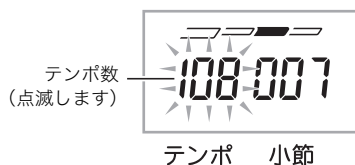
- イントロからはじめたいとき→❼を押します。
- バリエーションからはじめたいとき→❾を押します。

テンポ（速さ）を変える

自分の弾きやすいテンポに変えてみましょう。

1. ❻を押します。

∨を押すとテンポが遅くなり、∧を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。

- ∨∧を一緒に押すと、そのとき選ばれているリズムの初期値に戻ります。
- ❻を押すと画面のテンポ数表示が点滅をはじめます。点滅中には⓰（数字、−＋ボタン）でもテンポ数を変えられます。
- しばらく何も操作をしないと、元の表示に戻ります。

自動伴奏の音量を変える

自分で弾く音量と自動伴奏の音量のバランスを変えてみましょう。

1. 液晶画面に“AcompVol”と表示されるまで、❸（機能）を何度か押します（4ページ）。

AcompVol

2. ⓰（数字、−＋ボタン）の[−]または[+]を押して、伴奏の音量を変えます。

お勧めの音色やテンポにする（ワンタッチプリセット）

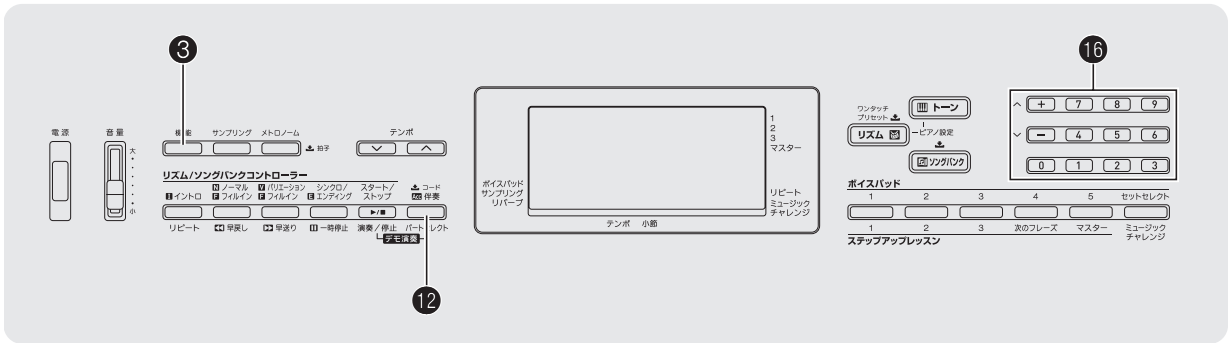
ワンタッチプリセットとは、リズムパターンごとにそのリズムに良く合った音色やテンポを、ワンタッチで呼び出すことができる機能です。

1. 液晶画面表示が音色の表示になるまで、⓮（リズム）をしばらく押し続けます。

鍵盤の音色やテンポなどが現在選択されているリズムに対応した設定にセットされます。

2. 鍵盤でコードを押さえて演奏します。

伴奏も同時にスタートします。

他の外部機器と接続する

パソコンとの接続

この楽器とパソコンを接続して演奏情報(MIDIデータ)の送受信ができます。楽器演奏をパソコンの音楽ソフトへ送って記録したり、パソコンからこの楽器へデータを送って音を鳴らすことができます。

パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要なパソコン環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコン環境を必ず事前にご確認ください。

- **対応OS**
  Windows® XP(SP2以降)※1
  Windows Vista® ※2
  Windows® 7 ※3
  Mac OS® X(10.3.9、10.4.11、10.5.8以降、10.6.6以降)

  ※1:Windows XP Home Edition
  　　Windows XP Professional(32bit版)
  ※2:Windows Vista(32bit版)
  ※3:Windows 7(32bit版、64bit版)

- **USB端子**

重 要

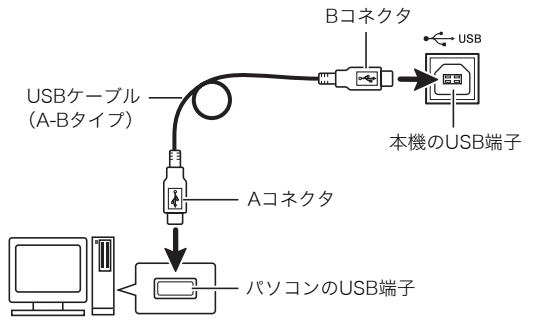
- **上記の対応OS以外のパソコンを接続すると、パソコンが故障する場合があります。絶対に接続しないでください。**

接続方法

重 要

- **正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず次の手順に従って接続してください。**

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。
- パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。

2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機を接続します。

3. 本機の電源を入れます。
- 初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバが自動でパソコンにインストールされます。

4. パソコンの音楽ソフトを起動させます。

5. パソコンの音楽ソフトの設定で、MIDIデバイスとして下記のいずれかを選びます。

CASIO USB-MIDI:(Windows 7、Windows Vista、
　　　　　　　　Mac OS Xの場合)
USBオーディオデバイス:(Windows XPの場合)

- MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

重 要

- **パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。**
- **ソングの再生中(16ページ)は、データを送受信することができません。**

メモ

- 1回接続に成功した後は、USBケーブルをつないだままでパソコンや本機の電源を入れなおすことができます。
- 本機はGM（General MIDI Level 1）に準拠しています。
- 本機のMIDIデータ送受信の詳しい仕様や、接続についての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。
  http://casio.jp/support/emi/

各種MIDI設定

キーボードチャンネル

キーボードチャンネルとは、鍵盤演奏のデータをパソコンへ送信するチャンネルのことです。本機の鍵盤演奏のデータをパソコンに送信するチャンネルを選びます。

- キーボードチャンネルの設定範囲は01～16です。

1. 液晶画面に“Keybd Ch”と表示されるまで、❸（機能）を何度か押します（4ページ）。

```
01
Keybd Ch
```

2. ⓰（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、チャンネルを変えます。

ナビゲートチャンネル

パソコンから送られてきた曲の音符情報のなかで、特定のチャンネル（パート）の音だけを画面の表示でガイドさせることができます。このチャンネルのことをナビゲートチャンネルといいます。

■ナビゲートチャンネルを設定する

この楽器では、01～16チャンネルの中から、隣りあった2つのチャンネル（例：05と06）をナビゲートチャンネルとして設定できます。番号の小さい方のチャンネルをナビゲート（左）チャンネル、番号の大きい方のチャンネルをナビゲート（右）チャンネルといいます。ナビゲート（右）チャンネルを設定すると、自動的にナビゲート（左）チャンネルも設定されます。

1. 液晶画面に“Navi. Ch”と表示されるまで、❸（機能）を何度か押します（4ページ）。

```
04
Navi. Ch
```

2. ⓰（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、ナビゲート（右）チャンネルを設定します。

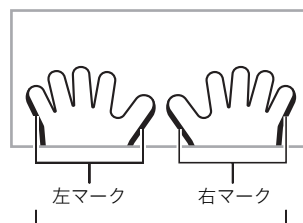
ナビゲート（右）チャンネルの番号より1つ小さい番号のチャンネルが、自動でナビゲート（左）チャンネルに設定されます。

■ナビゲートチャンネルの音を消して鍵盤で演奏する

ナビゲートチャンネルとして設定した2つのチャンネルのうちどちらか片方、または両方のチャンネルの音を消して、自分で弾くことができます。

1. ⓬を押して、音を消したいチャンネルを選びます。

⓬を押すたびに、下表の（1）から（4）の状態が順に切り替わります。

- 音を消したチャンネルのパートと同じ音色で鍵盤が弾けるようになります。両方のチャンネルとも音を消した場合（下表の（3））は、ナビゲート（右）チャンネルの音色になります。

選ばれたチャンネルが点灯します

	ナビゲート（左）チャンネル		ナビゲート（右）チャンネル	
	発音	画面のガイド	発音	画面のガイド
（1）右マークのみ点灯時	○	×	×	○
（2）左マークのみ点灯時	×	○	○	×
（3）左右両マーク点灯時	×	○	×	○
（4）左右両マーク消灯時	○	○	○	○

ローカルコントロール

パソコンとデータを送受信している際に、弾いている鍵盤の音をこの楽器から出したくない場合があります。ローカルコントロールの設定をオフにすれば弾いている鍵盤の音を消すことができます。

1. 液晶画面に“Local”と表示されるまで、❸（機能）を何度か押します（4ページ）。

on
Local

2. ⓰（数字、－＋ボタン）の［－］を押して、オフに設定します。

アカンプアウト

この設定をオンにすると、自動伴奏の演奏データをパソコンに送信します。

1. 液晶画面に“AcompOut”と表示されるまで、❸（機能）を何度か押します（4ページ）。

oFF
AcompOut

2. ⓰（数字、－＋ボタン）の［＋］を押して、オンに設定します。

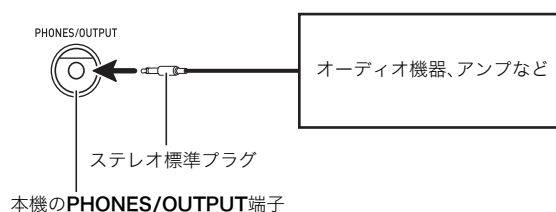
オーディオ機器とつなぐ

市販のステレオやアンプに接続して大きな音量で鳴らしたり、録音機器に接続して本機での演奏を録音したりできます。また、携帯オーディオプレーヤーなどの音を本機で鳴らしながら、それをバックに演奏して楽しむことができます。

本機の音を外部機器で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。
- 片側がステレオ標準プラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

重 要

- **接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。**
- **接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。**
- **外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聴こえる場合は、本機の音量を下げてください。**

外部機器の音を本機で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。
- 片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の出力端子に接続できるものをご用意ください。

重 要

- **接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。**
- **接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。**
- **本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。**

資料

困ったときは

	症状	対策
付属品		
	梱包箱のなかに付属品が見つからない。	緩衝材の中も探してみる。
電源		
	電源が入らない。	• アダプターの接続状態や、電池の装着方向が正しいか確認する（5ページ）。 • 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する（5ページ）。
	大きな音を出すと、突然電源が切れる。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する（5ページ）。
	数分ほど弾かないでいると、突然電源が切れる。	オートパワーオフ機能を解除する（7ページ）。
表示		
	液晶画面の表示が暗くなったり、ちらつくようになった。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する（5ページ）。
	液晶画面の鍵盤や楽譜表示で、音の表示が点灯したままになった。	ステップアップレッスンで、次の音の鍵盤が弾かれるのを待っている状態です。レッスンを停止させると、音の表示も消灯します（21ページ）。
	液晶画面の表示が一定の方向からしか見えない。	本機の製造上の制約等によるもので、故障ではありません。
音		
	鍵盤を弾いても音が出ない。	• 音量の設定（7ページ）を変えてみる。 • 本機背面の**PHONES/OUTPUT**端子（㉞）にプラグが挿さっていないか確認する。 • 本機の電源を入れなおしてみる（7ページ）（各種設定は初期化されます）。
	左側の鍵盤だけ音が出ない（あるいは通常と違う音が鳴る）。	⓬を押して、自動伴奏のコード入力ができる状態を解除する（27ページ）。
	自動伴奏をスタートしても音が出ない。	• リズム番号の140番と、142～150番は、コードを入力しないと音が鳴らないリズムパターンです。コードを入力してみてください（27ページ）。 • 伴奏の音量の設定（30ページ）を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる（7ページ）（各種設定は初期化されます）。
	ソングの自動演奏をスタートしても音が出ない。	• ボタンを押してからソングが始まるまでに少し時間がかかります。ソングが始まるまで少しお待ちください。 • 曲の音量の設定（18ページ）を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる（7ページ）（各種設定は初期化されます）。
	メトロノームの音が鳴らない。	• 伴奏の音量の設定（30ページ）を確認して調整する。 • 曲の音量の設定（18ページ）を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる（7ページ）（各種設定は初期化されます）。
	音が鳴りっぱなしで止まらなくなった。	• 本機の電源を入れなおしてみる（7ページ）（各種設定は初期化されます）。 • 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する（5ページ）。
	鳴らしている音が途切れてしまう。	同時に鳴っている音の数が48（音色によっては24）を超えると発生します。故障ではありません。
	音量や音質が変わってしまった。	• 音量の設定（7ページ）を変えてみる。 • 本機の電源を入れなおしてみる（7ページ）（各種設定は初期化されます）。 • 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する（5ページ）。
	特定の鍵盤の音量や音質が、他の鍵域の鍵盤と若干違って聴こえる。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
	端の方の鍵盤を弾いていると、同じオクターブの音が繰り返されるように聴こえる音色がある。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。

	症状	対策
	音の高さが他の楽器とあわない(あるいは不自然に聴こえる)。	• トランスポーズ(11ページ)やチューニング(12ページ)の設定を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
	音の響きが急に変わったように感じる。	• リバーブの設定(11ページ)を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
	サンプリングで記録した音が消えてしまった。	本機の電源を切ると、記録したデータが消去されます(14ページ)。
操作		
	ソングの早送りや早戻しをすると、1小節ごとではなく何小節もまとめて移動してしまう。	ソングの停止中、またはステップアップレッスン中に早送りや早戻しをすると、フレーズ単位で移動します(17ページ)。
パソコンとの接続		
	MIDIデータの送受信ができない。	• 本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか、あるいはパソコンの音楽ソフトの設定でデバイスが正しく選ばれているか確認する(31ページ)。 • 本機の電源を切ってパソコンの音楽ソフトを終了させてから、本機の電源を入れてパソコンの音楽ソフトを再起動させてみる。

製品仕様

型式	CTK-2200
鍵盤	61鍵盤
同時発音数	最大48音(一部音色では最大24音)
音色機能	
プリセット音色	400音色
サンプリング音色	1(フルサンプリング)、または3(ショートサンプリング) 記録時間:1秒(フルサンプリング)、または約0.3秒(ショートサンプリング) 効果:10タイプ(フルサンプリング音)
リバーブ機能	10種類、オフ
ボイスパッド	5パッド×4セット (サンプリング用:3セット、パーカッション固定:1セット)
メトロノーム機能	
拍子	0、2〜6拍子
テンポ	30〜255
ソングバンク機能	
プリセットソング	110曲
ステップアップレッスン機能	
レッスンの種類	4種類(レッスン1/2/3、自動ステップアップレッスン)
レッスンパート	左手、右手、両手
その他	リピート、運指音声、弾くべき音のガイド、採点
ミュージックチャレンジ機能	20音符
自動伴奏機能	
プリセットリズム	150種類
ワンタッチプリセット	150種類
その他の機能	
トランスポーズ	±1オクターブ(−12 〜 0 〜 +12半音)
チューニング	A4 = 415.5〜465.9Hz(初期値: 440.0Hz)
MIDI機能	16chマルチティンバー受信、GMレベル1準拠
ミュージカルインフォメーション機能	音色/自動伴奏/ソングバンクの番号および名称、五線譜、運指、ペダル、テンポ、 小節数/拍子、コード名等
端子	
USB端子	タイプB
サステイン端子	標準ジャック(サステイン、ソステヌート、ソフト、リズム)
ヘッドホン/アウトプット端子	ステレオ標準ジャック 出力インピーダンス:200Ω、出力電圧:4.5V(RMS)MAX
オーディオ入力端子	ステレオミニジャック 入力インピーダンス:9kΩ、入力感度:200mV
電源端子	DC9.5V
電源	2電源方式
電池	単3形マンガン乾電池又は単3形アルカリ乾電池6本使用
電池持続時間	約3時間(アルカリ乾電池使用時)
ACアダプター	AD-E95100L
オートパワーオフ機能	約6分後(乾電池使用時)/約30分後(ACアダプター使用時)、キャンセル可能
スピーカー	10cm×2(出力:2.0W+2.0W)
消費電力	9.5V⎓7.7W
サイズ幅	幅94.6×奥行き30.7×高さ9.2cm
質量	約3.4kg(乾電池含まず)

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

ソングリスト

ソングバンク

	世界の曲
001	きらきら星
002	ちょうちょう
003	ロング・ロング・アゴー
004	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー
005	さくら さくら
006	聖者の行進
007	アメイジング・グレイス
008	ほたるの光
009	ぶんぶんぶん
010	かわいいオーガスチン
011	こげよマイケル
012	ダニー・ボーイ
013	マイ・ボニー
014	埴生の宿
015	オーラ・リー
016	峠の我が家
017	アロハ・オエ
018	サンタ・ルチア
019	ふるさと
020	グリーンスリーブス
021	ジェリコの戦い
022	パン屋さん
023	ロンドン橋
024	大きな栗の木の下で
025	森のくまさん
026	大きな古時計
027	アニー・ローリー
028	夢路より
029	しあわせなら手をたたこう
030	愛しのクレメンタイン
031	茶色のこびん
032	朝日のあたる家
033	黄色いリボン
034	アルプス一万尺
035	ケンタッキーの我が家
036	森へ行きましょう
037	トロイカ
038	ワルツィング・マチルダ
039	アビニョンの橋で
040	線路は続くよどこまでも
041	おお スザンナ
042	草競馬
043	金髪のジェニー
044	わらの中の七面鳥
045	さらばジャマイカ
	イベント
046	きよしこの夜
047	おめでとうクリスマス
048	ジングル・ベル
049	もろびとこぞりて
050	もみの木
	ピアノ／クラシック
051	メリーさんのひつじ
052	白鳥 「動物の謝肉祭」より
053	ジュ・トゥ・ヴ
054	ソナタ　作品１３ 「悲愴」 第２楽章
055	野ばら
056	Ｇ線上のアリア
057	春 「四季」より
058	ハバネラ　歌劇「カルメン」より
059	乾杯の歌　歌劇「椿姫」より
060	ハンガリー舞曲　第５番
061	ト長調のメヌエット
062	ニ長調のミュゼット
063	ガボット（ゴセック）
064	アラベスク（ブルクミュラー）
065	チョップスティックス
066	ひいらぎかざろう
067	喜びの歌
068	アヴェ・マリア（グノー）
069	ソナチネ　作品３６の１　第１楽章
070	プレリュード　作品２８の７（ショパン）
071	夢
072	ジムノペディ　第１番
073	家路 「新世界から」より
074	エリーゼのために
075	トルコ行進曲（モーツァルト）
076	ソナタ　作品２７の２ 「月光」 第１楽章
077	別れの曲
078	エンターテイナー
079	結婚行進曲 「真夏の夜の夢」より
080	アメリカン・パトロール
081	楽しき農夫
082	貴婦人の乗馬
083	ソナタ　Ｋ．５４５　第１楽章
084	乙女の祈り
085	小犬のワルツ
086	愛の夢　第３番
087	主よ、人の望みの喜びよ
088	カノン（パッヘルベル）
089	セレナード 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より
090	行進曲 「くるみ割り人形」より
	脳にキク
091-100	エクササイズ Ⅰ
101-110	エクササイズ Ⅱ

指定できるコード種一覧

フィンガード1、2で指定できるコード種

コード種	
C（メジャー）	
Cm（マイナー）	
Cdim（ディミニッシュ）	
Caug（オーギュメント）※3	
Csus4（サスフォー）※3	
Csus2（サスツー）※3	
C7（セブンス）	
Cm7（マイナーセブンス）※3	
CM7（メジャーセブンス）	
Cm7♭5（マイナーセブンスフラットフィフス）※3	
C7♭5（セブンスフラットフィフス）※3	
C7sus4（セブンスサスフォー）	
Cadd9（アドナインス）	
Cmadd9（マイナーアドナインス）	
CmM7（マイナーメジャーセブンス）	
Cdim7（ディミニッシュセブンス）※3	
C69（シックスナインス）※3	
C6（シックス）※1 ※3	
Cm6（マイナーシックス）※2 ※3	

※1 フィンガード2では、Am7として判別されます。
※2 フィンガード2では、Am7♭5として判別されます。
※3 転回形では使えない場合があります。

フィンガード3、フルレンジコードで指定できるコード種

フィンガード1、2で指定できるコード種に加え、下記のコード種が判別できます。

C♯/C・D/C・E/C・F/C・G/C・A♭/C・B♭/C・B/C・C♯m/C・Dm/C・Fm/C・Gm/C・Am/C・B♭m/C・Ddim/C・A♭7/C・F7/C・Fm7/C・Gm7/C・A♭add9/C

メモ

- フィンガード3では、最低音がベース音として判別され、転回形は使えません。
- フルレンジコードでは、最低音とその次の音がある程度離れている場合に、分数コードとして判別されます。

フルレンジコードではフィンガード1・2・3と異なり、鍵盤を3つ以上押したときに限りコードが指定されます。

保証・アフターサービスについて

保証書はよくお読みください
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています

修理を依頼されるときは
まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理サービス窓口」が修理をさせていただきます。
- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。

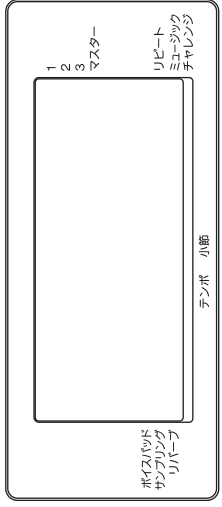
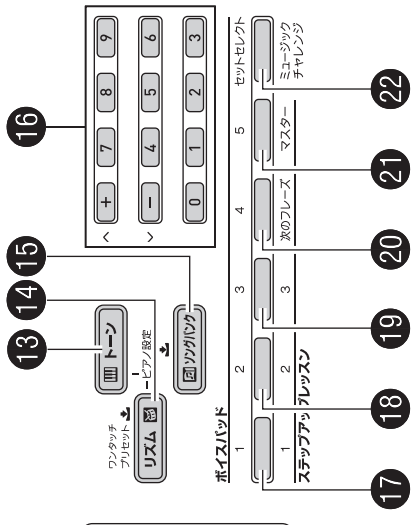
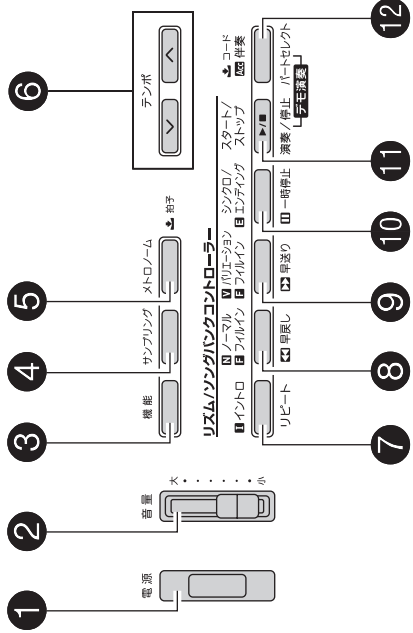
● 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

あらかじめご了承いただきたいこと
● 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
● 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。
● 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。
● 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理サービス窓口」にご依頼ください。

アフターサービスなどについておわかりにならないときは
お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

コード例一覧

根音(ルート)／コードの種類	C	C♯/(D♭)	D	(D♯)/E♭	E	F	F♯/(G♭)	G	(G♯)/A♭	A	(A♯)/B♭	B
M												
m												
dim												
aug												
sus4												
sus2												
7												
m7												
M7												
m7♭5												
7♭5												
7sus4												
add9												
madd9												
mM7												
dim7												
69												
6												
m6												

• コード入力鍵盤の範囲などの制約により、一部のコードでは上記のとおりに指定できない場合があります。

Model: CTK-2200 Version : 1.0

MIDI インプリメンテーション・チャート

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能範囲	1 1 〜 16	1 〜 16 1 〜 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代　用	モード3 × ＊＊＊＊＊＊＊	モード3 × ＊＊＊＊＊＊＊	
ノート ナンバー	音　域	36 〜 96 ＊＊＊＊＊＊＊	0 〜 127 0 〜 127 *1	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	○ 9nH v = 100 × 9nH v = 0	○ 9nH v = 1 〜 127 × 9nH v = 0, 8nH v =**	**は関係なし
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○	
ピッチベンド		×	○	
コントロール チェンジ	0, 32 1 6, 38 7 10 11 64	○ × × ○ ○ × ○*3	○（MSBのみ） ○ ○*2 ○ ○ ○ ○	バンクセレクト モジュレーション データエントリー ボリューム パン エクスプレッション ホールド 1

66 67 91 100, 101	○*3 ○*3 × ×	○ ○ ○ ○*2	ソステヌート ソフト リバーブセンド RPN LSB, MSB
プログラムチェンジ 設定可能範囲	○ 0 ～ 127 ✻✻✻✻✻✻✻	○ 0 ～ 127	
エクスクルーシブ	○*2	○*2	
コモン ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム クロック コマンド	○ ○	× ×	
その他 オールサウンドオフ リセットオールコントローラー ローカル オン／オフ オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× ○ × ○ × ×	○ ○ × ○ ○ ×	
備　考	*1: 音色による *2: 送受信対応 NRPN,RPN, システム・エクスクルーシブ・メッセージの詳細は MIDI Implementation（http://casio.jp/support/emi/）参照 *3: サステイン端子の設定により択一		

モード1 : オムニ・オン、ポリ　　モード2 : オムニ・オン、モノ　　○ : あり
モード3 : オムニ・オフ、ポリ　　モード4 : オムニ・オフ、モノ　　× : なし